



また、真面目で何事にもきちんと準備して臨んでいる人が多いのは、雪深いこの土地で暮らす皆さんならではの気質なのかなと感じます。

も好きです。私は自転車に乗るのが好きで、「久比岐自転車道」で海沿いの景色を楽しみながら糸魚川まで行ったり、米山の麓まで自転車で行き、そこから登山をしたりと、豊かな自然を満喫しました。

上越市は、とても住みやすいまちだと思います。自然が豊かで、上杉謙信公や高田の雁木通りなど、歴史や文化を感じられる場所がたくさんある素敵なまちなので、これからの発展がとて楽しみます。このまちに住む全ての皆さんが、今よりもっと心豊かに生活できる、そんなまちになって



ジムリーナ前での出迎え

という感想をいただき、私が当初思い描いていたような会にできないのではないかなと思いいれしなかったですね。

イベントを毎週実施したり、コロナ対策の分厚い受け入れマニュアルを翻訳したりと、大変なこともありましたが、楽しかったですね。

実際に住んでみて分かる、何気ない日常での上越の魅力



上ドイツ体操チームの皆さんと。(前から3列目、右から2番目がヤニックさん) 下/アンドレアス・トールバ選手とグータッチ。(左がヤニックさん)



くだった折り鶴やうちわなど、コロナ禍の大変な中でも温かく受け入れていただいた上越市の皆さんに、とても感謝し、感激していました。コロナ禍で交流する機会は少なかったですが、「もっと上越を知りたい、もっと上越の皆さんと触れ合いたい」と思っていたようです。オンラインで子どもたちと交流するなど、な

上/友人とスノーボードをしに毎週のようにスキー場へ。(五から二番目がヤニックさん) 下/アウトドアが好きで、いろいろな山に登ったそう。(前から二列目、1番目がヤニックさん)



🇩🇪🇯🇵 ヤニックさんを通じて



ドイツ語歓談会 クレーンシュナツ 参加の皆さん

フリートークで話せるのが良かったです。ヤニックさんの人柄にひかれて続けることができ、ドイツに親しみを感じるようになりました。国際理解って、きっとこんなふうに身近なところから始まるんでしょうね。



上越国際交流協会 事務局長 岡森 恵里 さん

日本語(標準語)は冷静で穏やか、関西弁は少し強気、英語は大声など、言葉で変わるのが面白かったです。

🇩🇪🇯🇵 生まれた、新たな交流の輪



ホストタウンサポーター、ドイツ語教室参加者 牛木 由美 さん

ドイツ語教室の休憩時にも、参加者一人一人に話し掛けてくださるなど、とても親しみやすい人でした。



有田小学校 6年生 鈴木 瑛佑 さん

ドイツと日本の文化の違いを楽しく学べました。コロナが落ち着いたらドイツに行ってみたいです。



元オリンピック・パラリンピック推進室職員 武田 一真 さん・柳 麻美 さん

上越市とドイツの架け橋となって、私たち市職員と一緒にホストタウンの取り組みを盛り上げてくれました。